



950号
2023年2月21日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

2023年3月期 第3四半期(累計)の経営成績 (億円)

	日本郵政グループ	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
経常収益	84,117	26,422	15,507	47,980
前年同期比	△1,011 △1.2%	△1,194 △4.3%	△48 △0.3%	△230 △0.5%
経常利益	5,336	1,039	3,443	787
前年同期比	△2,426 △31.3%	△97 △8.5%	△502 △12.7%	△1,913 △70.8%
四半期純利益	3,762	918	2,474	762
前年同期比	△271 △6.7%	66 △7.9%	△401 △13.9%	△433 △36.2%

2023年3月期 通期業績予想(2022年5月公表)

経常利益	7,000	950	4,450	1,600
3Q進捗率	76.2%	109.5%	77.3%	49.2%
当期純利益	4,000	600	3,200	710
3Q進捗率	94.1%	153.0%	77.3%	107.3%

減収減益も黒字確保

決算の概要

2023年3月期、第3四半期の決算が発表された。

郵便・物流事業
営業利益は、453億円

で、前期比259億円減益。ゆうパックが1%減少で、ゆうパケットが0.4%増加した。

郵便局窓口事業

営業利益は、前同期比285億円増益の575億円。

日本郵便

営業利益が前同期比120億円減の108億円。減収・減益の決算内容である。

営業利益は前同期比122億円減の1,071億円。四半期純利益は66億円増の918億円。

ゆうちょ銀行

連結業務純益は、前同期比1,270億円減の1,768億円。四半期純利益は前同期比401億円減の2,474億円。不動産ファンドの拡大等で臨時損益が前同期比768増。

かんぽ生命

基礎利益は前同期比1,763億円減の1,349億円。四半期純利益は322億433億減の762億円。新規契約が、個人保険・第三分野共に増加した。

人件費が、かんぽ移行等で大幅減少した。国際物流事業

社員登用(一般職)・コース転換合格者
4月1日より正社員登用、コース転換される合格者が発表されました。

社員登用合格者数(2023年4月1日正社員登用)

	応募者数	最終合格者数
日本郵政(株)	11人	3人
日本郵便(株)	郵便コース	2,378人
	窓口コース	1人
(株)ゆうちょ銀行	157人	61人
(株)かんぽ生命	77人	20人
グループ合計	8,135人	2,761人

コース転換合格者数(2023年4月1日コース転換)

		最終合格者数	
日本郵政(株)		6人	
日本郵便(株)	郵便コース	郵便コース	1,185人
		窓口コース	0人
	郵便営業コース	60人	
(株)ゆうちょ銀行	窓口コース	郵便コース	1人
		窓口コース	785人
		郵便営業コース	0人
(株)かんぽ生命		40人	
(株)かんぽ生命		24人	
グループ合計		2,101人	

今後の予定

● 3月14日(火) 17:00~
第5回呉支部執行委員会
支部事務所

次号は 3月7日 予定

合格者の皆様、おめでとうございます。登用に応募者した人数の約3分の1が合格という結果となりました。人材不足が危ぶまれる中、希望者の正社員化を組合は求めています。会社の対応は依然厳しいままです。状況悪化する前に改善が望まれます。厳しいと言え、日本郵便が経済産業省の行った価格転嫁調査で最低評価だった事がニュースになりました。最低評価となったのは、2社だけです。この評価で分かる様に、会社だけが利益独占する体制を見直し、ベースアップや賃金改善などを行う為に、春闘で組合員が一致団結する必要があります。